

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 36 | プライバシーに配慮した対応を心がけ実践できたが、状況に応じ、対応できていない時がある。 | 一人ひとりに合った排泄・入浴等の誘導や言葉掛けができる。プライバシーに配慮した具体的な対応ができるようになる。 | 具体的な項目を挙げて自分の言動を考える機会を持ち評価する。センター方式を活用し、本人の立場や視点に立って対応する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 2 | 身体介護の比重が高くなり、関わりが少なくなってしまう場面がある。職員の対応だけでは不十分な場合があり、協力者が必要と感じている。 | 地域の方の力もお借りして入居者の活動をサポートできるようになる。地域の方にホームの様子や役割を伝えられるようになる。 | 回覧板などで地域の方にホームの様子をお知らせする。ホームの困っていることなども伝え、サポートを依頼する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 48 | 身体介護の比重が高くなり、以前のようにレクを楽しむ場面が少なくなっている。 | 毎日、少しずつでもレクを楽しむことができる。 | 夕方の業務の時間をレクの時間に当て、短時間でも意識して取り組むよう心がける。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。